



## 2020年3月

---

- [Cisco Spaces の概要 \(1 ページ\)](#)
- [新機能 : 2020年3月 \(2 ページ\)](#)
- [不具合 \(4 ページ\)](#)

### Cisco Spaces の概要

Cisco Spaces は、既存の Wi-Fi インフラストラクチャを活用して実用的な情報を提供し、ビジネスの成果を促進するロケーションプラットフォームです。物理的なビジネス拠点で訪問者をつなぎ、連携できるようにするマルチチャネル エンゲージメントプラットフォームです。小売、製造、サービス業、医療、教育、金融など、さまざまな業種のビジネスを対象としています。Cisco Spaces は、施設内の資産を監視および管理するためのソリューションも提供します。Cisco Spaces は、これらの情報を実行に移すためのさまざまなツールキット、アプリ、および API を提供します。さらに、Cisco Spaces はパートナープログラムを通じて、さまざまな業界向けのさまざまなアプリを提供しています。

このリリースの主な機能は次のとおりです。

- Cisco ワイヤレスコントローラのネットワークに AP を追加するための複数のプレフィックスのサポート。
- [Location Hierarchy] の [Location Info] を移動し、新しい [Zip/postal code] フィールドを追加しました。
- ロケーション選択オプションで複数のロケーションを選択できるようになりました。
- [Engagement] ルールで、アプリと BLE を介した通知のサポートを削除しました。
- [Engagement] および [Location Personas] ルールで、[Exiting Location] を、特定の期間アクセスしていない対象をフィルタ処理する [Away from the Location] オプションに置き換えました。
- [Digitization Stats] の [Square Foot] の値を更新して、ネットワークロケーション用に設定された総面積を表すようにしました。
- Cisco Spaces パートナーダッシュボードのシングルサインオンサポート。

- **Cisco Spaces** パートナーダッシュボードでは、クラウドアプリの場合、顧客定義の OAuth URL の構成をサポートします。

## 新機能：2020年3月

### Cisco Spaces ダッシュボード

Cisco Spaces ダッシュボードに、次の新機能が追加されました。

#### ロケーション情報

[Location Hierarchy] で、ロケーション情報オプションが [More Actions] メニューから移動されました。ロケーションをクリックすると表示されるウィンドウで、ロケーション情報を追加または表示するための新しいタブ [Location Info] が使用できるようになりました。また、新しいフィールド、[Zip/Postal Code] が [Location Information] ウィンドウで使用できるようになり、ロケーションの郵便番号を指定できるようになりました。ロケーション情報フィールドが親ロケーションから継承されている場合、フィールドはオレンジ色で表示されます。

#### Cisco ワイヤレスコントローラの複数プレフィックスのサポート

シスコワイヤレスコントローラでは、Cisco Spaces を使用して、異なるプレフィックスを持つアクセスポイントを1つのネットワークでグループ化できるようになりました。ネットワークをロケーション階層にインポートした後、ネットワークをクリックして、さまざまなプレフィックスの AP を追加します。ロケーション階層でネットワークロケーションをクリックすると、[Location Info] タブに、そのネットワークにさまざまなプレフィックスの AP を追加するための新しい [Access Points Prefix Used] オプションが表示されます。プレフィックスを追加すると、指定されたプレフィックスを持つ、[unconfigured] のネットワークに属する AP がこのネットワークに移動します。[Access Points Prefix Used] オプションは、ネットワークロケーションでのみ使用できます。ただし、[Access Points Prefix Used] オプションを [Unconfigured] のネットワークに対して使用することはできません。

#### 複数のロケーション選択

Cisco Spaces では、ポータル作成、ルール作成、Cisco Meraki カメラのネットワークのインポートなどのアクティビティに複数の場所を選択できるようになりました。ロケーションを選択すると、その親ロケーションに対応するチェックボックスが青色で強調表示され、選択したロケーションが展開されてその子ロケーションが表示されます。その後、複数の子ロケーションを選択できます。以前は、ロケーションを選択した場合、その子ロケーションを選択するために選択を解除する必要がありました。この拡張機能は、次の機能のロケーション選択オプションに適用されます。

表 1: 複数のロケーションの選択が有効なオプション

機能	影響を受けるウィンドウ/フィールド
[Captive Portals App] > [Portal]	<ul style="list-style-type: none"> <li>ポータル作成</li> <li>ポータルのインポート</li> <li>場所の編集</li> </ul>
[Captive Portals App] > [User Management]	ユーザーを招待
ルール (キャプティブポータル、エンゲージメント、ロケーションペルソナ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ロケーションの追加</li> </ul>
[Setup] > [Camera]	ネットワークのインポート
パートナーアプリ	<ul style="list-style-type: none"> <li>アプリの設定</li> <li>アプリのアクティベーション</li> </ul>

## アプリとBLEによる通知のサポートを削除

[Engagement Rule] では、アプリとBLEを介して通知を送信する規定が削除されました。[Create Engagement Rule] ウィンドウの [Actions] 領域で、[Consumer] が使用できた次のオプションが削除されました。

- [Via Push]
- [Via BLE]

## [Away from the Location] 機能

[Engagements] と [Location Personas] ルールが強化され、特定の期間行っていなかった訪問をフィルタ処理できるようになりました。たとえば、10分間退席していた場合、その訪問をフィルタ処理するルールを定義できます。[Create New Rule] ウィンドウで、[When a user is on WiFi] で使用できる [Exiting Location] オプションが、[Away from the Location] オプションに置き換えられました。[Away from the Location] オプションを選択すると、[For] ドロップダウンリストが表示され、訪問者がルール別にフィルタ処理する際に必要となる時間を指定します。時間は分単位で指定します。

訪問者がロケーションに物理的に存在していても、[For] ドロップダウンリストで指定された分数の間 Wi-Fi から切断されていれば、訪問者はルールの対象と見なされます。

[Exiting Location] が設定されている既存の [Engagements] または [Location Personas] を編集している場合、[Choose User Activity] ドロップダウンリストが、オプションが選択されていない状態に表示されます。ルールを正常に保存するには、[Choose User Activity] ドロップダウンリストから必要なオプションを選択する必要があります。

## デジタル化に関する統計情報

**Cisco Spaces** ダッシュボードの [Digitization Stats] で、[Square Foot] の値が、[Location Hierarchy] の [Location Info] オプションでネットワークロケーションに設定された総面積を表すようになりました。以前は、[Square Foot] の値は、ロケーションに設定された AP の数に基づいて計算されていました。ただし、[Location Hierarchy] でネットワークロケーションに対して総面積が設定されていない場合、前述のように、[Square Foot] の値は AP に基づいて表示されます。

### パートナーダッシュボード：SSO サポート

**Cisco Spaces** パートナーダッシュボードは、シングルサインオン (SSO) をサポートするようになりました。パートナーダッシュボードアカウントで SSO を有効にする場合は、**Cisco Spaces** サポートチームにお問い合わせください。

**Cisco Spaces** の SSO ログインをサポートするために、**Cisco Spaces** パートナーダッシュボードのログイン画面が刷新されました。[Login] ボタンをクリックすると、[Email] フィールドのみが [Login] ウィンドウに表示され、あわせて [Continue] ボタンが表示されます。ユーザーがパートナーアカウントを持っていて、すでに SSO が有効なドメインにログインしている場合、[Continue] ボタンをクリックすると、ユーザーは [Select Partner] ウィンドウに直接移動します。ユーザーがドメインにログインしていない場合、ログイン認証のために IDP ページにリダイレクトされ、SSO 資格情報を指定してログインできます。

### パートナーダッシュボード：OAuth

[Cloud Apps] の場合、**Cisco Spaces** ダッシュボードが拡張され、[OAuth] 設定がより一般的になり、顧客が定義した OAuth URL の指定がサポートされるようになりました。[App Title] ウィンドウで、[OAuth Base URL] フィールドが 3 つの新しい OAuth URL フィールドに置き換えられ、ログイン、アクセストークン、およびパートナーアプリ情報の URL を個別に指定するようになりました。以前は、ログイン、アクセストークン、パートナーアプリ情報の URL は、このベース URL に基づいて内部的に生成されていました。既存のアプリの場合、3 つの URL フィールドは、ベース OAuth URL に基づいて自動的に入力されます。

[OAuth] チェックボックスが選択されている場合、3 つの OAuth URL フィールドは必須です。

## 不具合

不具合では、**Cisco Spaces** アプリケーションでの予期しない動作について説明します。「解決済みの不具合」と「未解決の不具合」では、このリリースの不具合を示します。

各不具合について、次の情報が提供されます。

- 識別子：各不具合には、一意の識別子 (ID) が割り当てられます。識別子は CSCxxNNNN というパターンで、 $x$  は任意の文字 (a ~ z)、 $N$  は任意の数字 (0 ~ 9) です。これらの ID は、セキュリティアドバイザー、フィールド通知、その他のシスコのサポートドキュメントなど、シスコのマニュアルでよく使用されます。Technical Assistance Center (TAC) エンジニアまたはその他のシスコのスタッフからも、特定の不具合の ID が提供されます。
- 説明：不具合が発生したときに観察された内容の説明。

ここでは、次の内容について説明します。

## シスコバグ検索ツール

**シスコバグ検索ツール (BST)** は、シスコ製品とソフトウェアの障害と脆弱性の包括的なリストを管理するシスコバグ追跡システムへのゲートウェイです。BSTは、製品とソフトウェアに関する詳細な障害情報を提供します。

## 未解決のバグ

表 2: 未解決のバグ

CDETS ID 番号	説明
<a href="#">CSCvq83680</a>	RBAC : 特定の場所しかアクセスできない管理ユーザーは、ダッシュボードにログインできない。
<a href="#">CSCvp57525</a>	ロケーション分析 : 滞留時間の値が小さい場合、滞留時間内訳チャートで滞留時間範囲 % が重複している。
<a href="#">CSCvs79627</a>	Meraki カメラ : ユーザーは非カメラデバイスもインポートできる。
<a href="#">CSCvs97445</a>	ロケーション階層ページでユーザー数が正しく表示されない。
<a href="#">CSCvt29202</a>	デフォルトでは、新しく作成されたアカウントの訪問者数と訪問数がデジタル化統計に表示される。
<a href="#">CSCvt62394</a>	ユーザーは、総面積単位値を選択せずに総面積値を保存することはできない。
<a href="#">CSCvt65983</a>	退席ルールの時間の選択は、各アカウントの業種訪問の終了時間に従って制限する必要があります。

## 修正されたバグ

表 3: 修正されたバグ

CDETS ID 番号	説明
<a href="#">CSCvs67712</a>	デフォルトでは、別のゲートウェイが設定されていても、最初の SMS ゲートウェイがすべてのルールに表示される。
<a href="#">CSCvs76739</a>	カメラ : meraki カメラページに meraki 認証情報を入力するオプションがない。

CDETS ID 番号	説明
CSCvs37999	マップからのインポート：Mozillaブラウザでのスクロールの問題により、すべてのフロアを表示できない。
CSCvs67256	CMX トークンの追加中に、「API の追加」呼び出しがキャンセルされ、ページが読み込まれない。
CSCvs90108	SSO が有効なドメインの電子メール ID を使用しているときに、ユーザーはパートナーダッシュボードにログインできない。

## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。